|  |  |
| --- | --- |
| 弊社使用欄 | 受付 |
| 契約番号KO- |  |
| 試験成績書番号TRO-KA |

**EUT仕様書（和文試験成績書用）**

|  |
| --- |
| * **試験開始1週間前までにご提出をお願いいたします。**
* **赤文字部分に和文でご記入ください。ご記入いただいた内容をそのまま試験成績書に記載いたします。**
 |

|  |
| --- |
| **＜ご記入箇所について＞**1. **供試機器（試験対象装置）の種別により、以下の箇所にご記入ください。**

**民生機器、車載機器（EV-Chamberご利用なし）の場合：1項～3項****車載機器（EV-Chamberご利用あり）の場合：1項～3項、Appendix A**1. **2.7項及び2.8項は、イミュニティ試験を実施する場合のみご記入ください。エミッション試験のみの場合はご記入不要です。**
2. **2.8項は、供試機器の種別及び適用規格によって記入箇所が変わりますのでご注意ください。**
 |

1. **一般情報**

**ご依頼者** : 貴社名

 **住所** : 貴社の住所

2.1 2) - 4)と同じ内容を記入してください

**供試機器（試験対象装置）**

**機器名** : 製品名（一般名称）

**型番** : 定格銘版に記載される型番

**製造番号** : 定格銘版に記載される製造番号

**製造業者** : 製造会社名

1) – 15) については空欄なきよう必ずご記入願います。

※15)については該当ない場合は「-」としてください。

1. **供試装置 (EUT)**

記入例

* 1. **供試装置の説明**
1. 試験品目 : 選択してください　「その他」の内容
2. 機器名 : 製品名（一般名称）
3. 型番 : 定格銘版に記載される型番
4. 製造番号　　　 : 定格銘版に記載される製造番号
5. ソフトウェアバージョン : ソフトウエアバージョン
6. EUTの寸法 : W\*\*\*×D\*\*\*×H\*\*\*(mm)
7. 内部最大周波数 : 機器で使用される最高周波数　\*\*\* MHz
　　　　　　　　　　　　　 (\*\*\*信号として使用)
8. 定格電圧 : 定格銘版に記載される電源仕様（記入例参照）
　　　　　　　　　　　　　　相数、線数（記入例参照）

記入例：”単相二線\_アース線付き”

1. 接地条件 : 選択してください
2. EUTの使用状態 : 選択してください
3. EUTの状態 : 選択してください　「抜き取り」の場合のLot No.（Lot No.#: \*\*\*）
 「その他」の内容
4. EUTの構成 : 選択してください　「その他」の内容
5. 使用環境 : 選択してください
6. 装備 : 選択してください　「一部装備なし」の未実装品
7. I/Oの種類／数 : LAN / 選択, USB / 選択, HDMI / 選択, 光 / 選択,
 その他（ポートの種類・名称） / 選択

EV-Chamberをご利用時は、「Appendix A　EV-Chamber用」のA.1の記載もお願いします。

**※ Ctrlキーを押しながらクリックするとジャンプします**

1. 装置への変更点 : 本欄記入不要です、試験終了後にご依頼者と協議の上で記入いたします
	1. **EUT動作モード　※欄が不足する場合は適宜追加してください**

該当しない場合は未記入でかまいません

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 名前 | 電源条件 | 詳細 | 通信(LAN) | 動作サイクル(sec) |
| #1 | 動作モード名 | 試験時の電源条件（記入例参照） | 動作の詳細説明 | プロトコル: 選択「その他」の内容ファイル名: ファイル名データ容量: データ容量ケーブルカテゴリ: Cat. \* |  |
| #2 | 動作モード名 | 試験時の電源条件（記入例参照） | 動作の詳細説明 | プロトコル: 選択「その他」の内容ファイル名: ファイル名データ容量: データ容量ケーブルカテゴリ: Cat. \* |  |
| #3 | 動作モード名 | 試験時の電源条件（記入例参照） | 動作の詳細説明 | プロトコル: 選択「その他」の内容ファイル名: ファイル名データ容量: データ容量ケーブルカテゴリ: Cat. \* |  |
| #4 | 動作モード名 | 試験時の電源条件（記入例参照） | 動作の詳細説明 | プロトコル: 選択「その他」の内容ファイル名: ファイル名データ容量: データ容量ケーブルカテゴリ: Cat. \* |  |
| #5 | 動作モード名 | 試験時の電源条件（記入例参照） | 動作の詳細説明 | プロトコル: 選択「その他」の内容ファイル名: ファイル名データ容量: データ容量ケーブルカテゴリ: Cat. \* |  |

記入例：AC 240 V, 50 Hz

 AC 200 V, 3P3W, 60 Hz

　　　　AC 400V, 3P4W, 50 Hz

 DC 12 V

EV-Chamberをご利用時は、「Appendix(1) EV-Chamber用」のA.2の記載もお願いします。

**※ Ctrlキーを押しながらクリックするとジャンプします**

* 1. **供試装置の構成図**

試験時のシステム構成図、構成機器一覧、ケーブル一覧を記載してください。

次々ページの記入例を参考にしてください。

試験時に使用する機器及びケーブルは全て記載してください。

**[構成 1]**

 **[構成 2]**

**＜記入例＞**

**※ 民生機器記入例**

A: EUT

(機器名)

B: AE

(機器名)

1

2

AC \*\* V

C: AE

(機器名)

D: AE

(機器名)

3

4

5

AC \*\* V

**※ 車載機器記入例**

A: AE

(Motor)

HV-LISN

 -　　+

B: EUT

(Inverter)

1

3

LV-LISN

+

LV-LISN

-

DC

200V

バッテリー

　12V

CAN

2

　　　: System configuration unit

A,B…: Equipment No.

1,2…: Cable No.

EUT: Equipment under test

AE: Associated equipment

■: Ferrite core

* 1. **供試機器一覧**

該当がない場合は

「－」とご記入願います。

2.3項の構成図にあるものは

漏らさず全てご記入願います。

空欄がないようにお願いいたします。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 記号 | 機器名 | 型番 | 製造業者  | 製造番号 | 種類 | 信号周波数.(MHz) |
| A | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| B | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| C | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| D | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| E | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| F | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| G | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| H | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| I | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| J | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| K | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| L | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| M | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| N | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| O | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| P | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |
| Q | 機器名 | 型番 | 製造業者 | 製造番号 | 選択 | 機器で使用される最高周波数 \*\*\* MHz |

2.3項の構成図にあるケーブルは漏らさず全てご記入願います。

空欄がないようにお願いいたします。

* 1. **接続ケーブル一覧**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | ケーブル名 | ポートの種類 | シールドの有無 | フェライトの有無 | 長さ(m) |
| 1 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 2 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 3 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 4 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 5 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 6 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 7 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 8 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 9 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 10 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 11 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 12 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 13 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 14 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 15 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 16 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 17 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 18 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 19 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 20 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 21 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 22 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 23 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 24 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 25 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 26 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 27 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 28 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 29 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |
| 30 | ケーブル名 | ポートの種類 | 選択 | 選択 | ケーブル長 |

「ポートの種類」 記入例：

 AC input power

　　　　DC output power

 LAN

 USB

「無」の場合は下表は記入不要です。

* 1. **未接続ポート　※欄が不足する場合は適宜追加してください**

選択してください

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 記号 | ポート名 | ポートの種類 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |
| 機器の記号 | ポート名 | ポートの種類　※記入例参照 |

「ポートの種類」 記入例：

 AC input power

　　　　DC output power

 LAN

 USB

* 1. **誤動作監視方法**

イミュニティ試験時のEUT監視方法を記載してください。

イミュニティ試験を実施しない場合は記入不要です。

**(試験中、次の方法によってEUTの動作を監視した。)**

・\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

・\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

・\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

* 1. **性能判定基準**

イミュニティ試験時の性能判定基準を記載してください。

下記の記入例を参考にしてください。

イミュニティ試験を実施しない場合は記入不要です。

ご依頼者が定義した性能判定基準を下記に示す。

***民生機器（IEC 60601-1-2/JIS T 0601-1-2以外）の場合***

*（記入例：上段　IEC 61000-6シリーズ　　下段　CISPR 24/35）*

**性能判定基準A**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

＜記入例＞

機器は，試験中及び試験後の両方において想定したように動作し続けなければならない。機器を想定した方法で使用したとき，製造業者が指定した最低性能レベル（又は許容内の性能喪失）を満たせない性能低下又は機能喪失があってはならない。最低性能レベル又は許容内の性能喪失を製造業者が指定していない場合には，これらは，想定した方法で機器を使用したときに使用者が当然期待する性能，並びに製品説明書及び製品文書で決定する。　*←青文字部分はなくても良い。*

ご依頼者が定義した通常性能レベルは、\*\*\*\*\*.である。

装置は、オペレータの介入なしに、意図した動作を継続すること。装置の意図通りの使用において、製造業者によって規定された性能レベル以下の性能低下又は機能喪失は許されない。性能レベルは、許容できる性能損失に置き換えてもよい。最低性能レベルまたは許される性能損失が製造業者によって規定されていない場合、これらの何れをも、製品について記述した文書、及びその装置を本来の使用法で使用した場合に期待できる動作性能から導き出してもよい。

*←青文字部分はなくても良い。*

ご依頼者が定義した通常性能レベルは、\*\*\*\*\*.である。

**性能判定基準B**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

＜記入例＞

機器は，試験後，想定したように動作し続けなければならない。機器を想定した方法で使用したとき，製造業者が指定した最低性能レベルを満たせない性能低下（又は許容内の性能喪失）又は機能喪失があってはならない。ただし，試験中の性能の低下は，あってもよい。実際の動作状態，又は蓄積データの変化は，あってはならない。最低性能レベル又は許容内の性能喪失を製造業者が指定していない場合には，これらは，想定した方法で機器を使用したときに使用者が期待する性能，並びに製品説明書及び製品文書から決定する。　*←青文字部分はなくても良い。*

試験実施後、装置はオペレータの介入なしに、意図した動作を継続すること。妨害印加後、装置の意図通りの使用において、製造業者によって規定された性能レベル以下となる性能低下又は機能喪失は許されない。性能レベルは、許容できる性能損失に置き換えてもよい。試験中、性能低下は許される。しかし、試験後の動作状態や記憶データの変化の継続は許されない。最低性能レベル(または許される性能損失)が製造業者によって規定されていない場合、これらの何れをも、製品について記述した文書、及びその装置を本来の使用法で使用した場合に期待できる動作性能から導き出してもよい。　*←青文字部分はなくても良い。*

**性能判定基準C**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

＜記入例＞

機器は，機能が自動的に回復するか，又は制御装置を操作して回復する場合には，試験中及び試験後において一時的な機能喪失があってもよい。

もし、機能が自動回復するか、使用者が取扱説明書に従い操作することにより回復できれば、機能喪失は許される。不揮発性メモリに格納されているか、バッテリバックアップで保護されている機能及び／又は情報は失われてはならない。

***IEC60601-1-2/JIS T 0601-1-2 適用の場合***

リスクマネジメント適用規格を選択してください。

IEC 60601-1-2: 2014 (Ed.4)適用の場合：ISO 14971: 2007

IEC 60601-1-2: 2014+A1: 2019 (Ed.4.1)適用の場合：ISO 14971: 2019

【リスクマネジメント適用規格】

 選択してください

イミュニティ試験時の基本性能 及び 適合性/合否基準を記載してください。

下記の記入例を参考にしてください。

【基本性能】

1. \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

2. \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

3. \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

4. \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

【合否判定基準】

1. \*\*\* Name of unit \*\*\*

-\*\*\*\*\*.

-\*\*\*\*\*.

-\*\*\*\*\*.

2. \*\*\* Name of unit \*\*\*

-\*\*\*\*\*.

-\*\*\*\*\*.

-\*\*\*\*\*.

3. \*\*\* Name of unit \*\*\*

-\*\*\*\*\*.

-\*\*\*\*\*.

-\*\*\*\*\*.

4. \*\*\* Name of unit \*\*\*

-\*\*\*\*\*.

-\*\*\*\*\*.

-\*\*\*\*\*.

ただし、ディップおよび瞬時停電テストでは、次のパフォーマンス低下が許容される。

テスト中およびテスト後のパフォーマンスの低下は許容されるが、テスト後に手動で返却できる必要がある。

\*ここでのパフォーマンスの低下は、システムのダウンを意味する。手動復元では、上記のように基本性能が十分であることを確認する。

***自動車関連機器の場合***

【機能性能状態】

**状態I**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

＜記入例＞

機能が、試験中も試験後も設計どおりに実行される。

**状態II**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

＜記入例＞

機能が、試験中は設計どおりに実行されないが、試験後、自動的に通常動作に復帰する。

**状態III**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

＜記入例＞

機能が、試験中に設計どおりに実行されず、また障害を排除した後、DUTの電源を入れる/遮断する又は点火スイッチを回転させるなど、簡単なドライバ/同乗者の介入なしには通常動作に復帰しない。

**状態VI**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

＜記入例＞

機能が、試験中も試験後も設計どおりに実行されず、バッテリ又は主系統を遮断して再接続するなど、より大がかりな介入なしには正常な動作に復帰することができない。試験の結果として、機能が永久的損傷を受けてはならない。

**状態V　※必要に応じてご記入ください。**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

* 1. **EUTの類似型番**

試験対象品の類似モデル（試験対象とはしないが、試験成績書に記載するモデル）がある場合は記入してください。

次の同様のモデルは、この評価の一部としてテストされていませんが、メーカーは同じ電気仕様とハードウェアによって識別されています。

 テストは典型的なモデルとして\*\*\*\*\*\*\*\*\*で行われました。

試験対象モデル名を記入してください。

<類似型番>

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ユニットタイプ | 型番 | ブランド | 備考 |
| \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* |
| \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* |
| \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* |
| \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* |
| \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* |
| \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* | \*\*\*\* |

**3. 特記事項 及び 試験開始後の変更／合意事項 等**

※ 特記事項、規格要求以外の内容などございましたらご記入ください。

　試験開始後の変更・合意事項等がある場合はこちらに記録いたします。

|  |
| --- |
| \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* |
|  | 弊社使用欄：試験成績書作成前確認 |
| EMCセンター確認 | EMCセンター担当 |
| 試験開始後の変更・合意事項ご確認サイン： |  |  |

|  |
| --- |
| * **治具作製を依頼される場合、試験開始3か月前までにご提出をお願いいたします。**
* **治具作製を依頼しない場合、試験開始2週間前までにご提出をお願いいたします。**
 |

**Appendix A　EV-Chamber用**

**A.1　被供試装置（EUT）の概要**

1. 最大電力　　　　　　　　 : \*\*kW
2. 最大トルク　　　　　　　 : \*\*N
3. 最大回転数　　　　　　　 : \*\*r/min

弊社にモータ取付治具を作成依頼される場合は、

6-1)~6-3)の記入、及びモータ図面の御提出をお願いします。

1. 寸法・重量（EUT） : W\*\*\*×D\*\*\*×H\*\*\*(mm)・\*\*kg
2. 寸法・重量（モータ） : W\*\*\*×D\*\*\*×H\*\*\*(mm)・\*\*kg
3. モータ取付治具作製　　　 : 選択

6-1) 面板 　　　　: 選択 / 表面処理　: 選択

6-2) フランジ　 　　　　: 選択 / 表面処理　: 選択

6-3) スプライン　　　　　: 選択

1. I/Oの種類及び数　 : CAN （　　　　　　　　　）,　CAN （　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　 \*\*\* （　　　　　　　　　）, \*\*\* （　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　 \*\*\* （　　　　　　　　　）, \*\*\* （　　　　　　　　　）

1. 冷却方法　　　　　 : [ ] 水道水（北川工業設備）

CAN以外に通信種類がありましたら記入をお願いします。

[ ] チラー 1440W(水冷)（北川工業設備）

該当のチェック欄にチェックをお願いします。

[ ] チラー(水冷)（お客様準備）

[ ] 油冷（お客様準備）

[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**A.2　試験時の動作モード**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| Mode No. | 電源条件 | 回転条件 | トルク条件 | 備考 |
| LV | HV |
| #1 | DC　\*\*　V | DC \*\* V | \*\*\*\*　　rpm | \*\*\*\*　　N |  |
| #2 | DC　\*\*　V | DC \*\* V | \*\*\*\*　　rpm | \*\*\*\*　　N |  |
| #3 | DC　\*\*　V | DC \*\* V | \*\*\*\*　　rpm | \*\*\*\*　　N |  |
| #4 | DC　\*\*　V | DC \*\* V | \*\*\*\*　　rpm | \*\*\*\*　　N |  |
| #5 | DC　\*\*　V | DC \*\* V | \*\*\*\*　　rpm | \*\*\*\*　　N |  |

１ページ目へ戻る

**※ Ctrlキーを押しながらクリックするとジャンプします**